

何度も声上げよう

辺野古新基地 最高裁不当決定糾弾し集会



「沖縄は届しない。デニ一知事を支えよう」と举を突き上げる集会参加者=28日、那覇市・沖縄県庁前

沖縄県名護市辺野古の新基地建設をめぐり、設計変更の裁決そのものの違法性を

間の闘争と取消訴訟で、県の上告を受理しないとした最高裁の不当決定を糾弾し

玉城デニー知事の不承認判決を支持する緊急集会が28

日、沖縄県庁前で開かれました。「辺野古新基地を造らせないオール沖縄會議」が主催し、300人が集まりました。

オール沖縄會議の稻嶋進

共同代表が、「沖縄県民をさらにこれから100年以上も基地に苦しめるひどくありません。心を一つに頑張っていこう」と呼びかけると、大きな拍手が起りました。

県の訴訟代理人を務める加藤裕弁護士は、別の闘争

した。

日本共産黨の、あかみね

政賛衆院議員の沖縄選出野

党国会議員が駆け付け、新

美参院議員が代表して訴え

ておらず、この間で沖縄が諦めるわけにはいかない。どんな

判決が出ても軟弱地盤は無くならない。何度も声を上げていこう」と力を込めました。

高裁が弁論を開かず異議申し立てに出す異議であることに對し、「その後どうするか」と言及。「辺野古の埋め立ては順調にいつても十数年かかり、まだまだ問題が発生する。私たちが取り上げられる瑕疵（法的な欠陥）が必ず出てくると思います」と強調しました。

デニー知事を支える興議

会会派の日本共産党県議団で、いた平和ネット、立憲おさなわの各代表が連

帯あこさつ。共産党的比嘉瑞二郎議は「いま歴史の岐

路にある中で沖縄が諦めるわけにはいかない。どんな判決が出ても軟弱地盤は無くならない。何度も声を上げていこう」と力を込めました。